

# 島工だより

2018年  
1月

長崎県立島原工業高等学校  
〒855-0078 島原市本光寺町 4353 番地  
TEL:0957-62-2768 FAX:0957-63-2215

## 三学期始業式 9日

冬休みが終了し、平成 29 年度 三学期がスタートしました。9 日(火)の始業式で、辻校長先生は垂れ幕を用意され、『愚直であれ』という言葉が呈示されました。「愚直とは、①正直すぎて臨機応変に対応できないこと、②他のことは考えず、一つのこと集中して取り組むこと、以上二つの意味がある。②のような捉え方が大切である。つまり、あることを成し遂げるには、愚直でなければならない。人が見ていようが見ていまいが、自分がなすべきことを着実に実践することが大切である。3 学期は次年度に向けた準備の学期と考え、生徒一人ひとりがしっかりとなすべきことを決め、愚直に取り組んでほしい。」と訓辞を述べられました。



校長訓辞

## 伝達表彰式 9日

第 10 回伝達表彰式を行いました。受賞者は以下のとおりです。

- ◆D2 末永大貴君：平成 29 年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
  - ・長崎県選挙管理委員会委員長賞(高等学校の部)
  - ・文部科学大臣・総務大臣賞
- ◆D1 織田峻輔君、D1 高澤飛雅君：平成 29 年度長崎県高等学校ソフトテニス競技 1 年生大会 第 4 位



受賞生徒

## 第 51 回発明創意工夫コンクール表彰式・作品発表会／第 34 回生徒研究成果発表会 17日

17 日(水)、大村工業体育館において、県下の工業系高校の生徒による「第 51 回発明創意工夫コンクール」の表彰式と作品発表会が開催されました。

また、午後からは課題研究等の成果を発表する「第 34 回生徒研究成果発表会」が行われ 5 工業が参加しました。本校からは、電子機械科 3 年の石橋亮啓君・井上翔貴君・小林秀仁君・芳野雄大君・龍園瑛邪君のグループが出演し、「幼児・児童向け乗用のライトレースカー島原鉄道バス」と題して、地面に引いた白線をトレース走行する電動自動車の製作について発表し、**優秀賞**を受賞しました。



研究成果発表の様子

<考案の部> **優秀賞**：馬場祐輔君(E3)

**奨励賞**：川内康優君(E3)、本田兼裕君(S2)、渡部龍一君(D2)、増崎敬飛君(D2)、寺田一真君(D2)、末永大貴君(D2)、橋川寿盛君(D2)、西田弘輝君(D2)、宮崎剛君(K1)

<ポスターの部> **優秀賞**：末永大貴君(D2)

**奨励賞**：松尾有彩君(K1)

## 推薦入学願書受付 18～24日

18 日(木)～24 日(水)、平成 30 年度の推薦入学願書の受付を行いました。応募状況は右のとおりで、昨年の志願(一般 48 名、特別 5 名)に比べて 21 名少なくなりました。

2月6日(火)に、入学検査(面接)を行います。

学科 (募集定員)	一般推薦		特別推薦	
	定員	志願者数	定員	志願者数
機械システム (40名)	16名	9名	5名	5名
電気電子 (40名)	16名	7名		
建築技術 (40名)	16名	11名		
合計 (120名)	48名	27名		

## 各科「課題研究発表会」 19～27日

18 日(木)電気科と建築科、23 日(火)電子機械科、24 日(水)機械科の課題研究発表会が行われ、各科の 3 年生が今年度取り組んだ内容やその成果を 1・2 年生に発表しました。「課題研究」という科目は、生徒が自ら工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てることをねらいとしており、生徒は班毎に作品製作、調査・研究・実験、産業現場等における実習、職業資格の取得のいずれかに取り組んでいます。

今回の発表会を経て各科の代表を選出し、2月8日(木)に行われる学校全体の課題研究発表会において、全校生徒に発表を聞かせることになっています。保護者の皆様にもご案内しております。是非、ご来校ください。



課題研究発表会(電子機械科)の様子

## 進学公務員説明会 16日、受験報告会 23日

16日(火)放課後に、「進学・公務員説明会」を視聴覚室で開き、進路指導部担当者が公務員及び進学を希望する1・2年生と保護者(51名参加)に、指導内容や方法の説明と進路実現のための心構えについて話をしました。

また、インフルエンザ流行のため受験報告会は1週間延期し、23日(火)6校時に、各科毎1・2年生の各教室で3年生の就職・公務員・進学の「受験報告会」を行いました。各クラスから選出された3年生は、受験した企業・公務員・学校の概要、志望動機や試験内容、及び受験に向けての準備や心構えなど丁寧にわかりやすく説明してくれました。



受験報告会の様子

## 3年生学年末考査 25～30日

3年生にとっては、高校生活最後の定期考査となる学年末考査が25日(木)から30日(火)までの4日間行われました。4月からの新しい出発に向けて、全員が笑顔で卒業できるようにしっかり準備し真剣に取り組んでいました。

## 地元企業による就職セミナー 26日

26日(金)、1・2年生を対象とした就職セミナーを開催し、地元の企業25社に参加していただきました。生徒は25社のうち4社の企業について、各社の事業内容や仕事内容、福利厚生などについての説明を受けました。

説明を受けた生徒からは、「県内(地元)にもいろいろな企業があることが分かり、大変参考になった。」「実際に話を聞いてみると、働くことは大変だと思う反面、興味や関心も湧いてきた。」「将来地元の企業に就職するために、しっかり勉強し体も鍛えておこうと思った。」など、地元企業に対して前向きな感想を聞くことができました。



企業の説明に耳を傾ける生徒

## 芥川賞作家 羽田圭介氏のお母様からの図書贈呈式 26日

26日(金)午後4時半から、「芥川賞作家 羽田圭介氏のお母様(羽田つや様)からの図書贈呈式」を行いました。

2015年、第153回芥川賞を受賞された、作家 羽田圭介氏のお母様は、本校電子工学科7回生の卒業生です。今回、ご厚意により、ご子息のこれまでの作品を寄贈していただくことになりました。

寄贈していただいた図書は、本校で作成した手づくりの木製本棚に収納し、関連資料もパネル展示して「羽田圭介文庫」コーナーを設けました。

贈呈式では、校長先生のお礼のこたばに引き続き、本校生徒を代表して生徒会副会長 宮崎鈴さんが、「寄贈していただいた本を大切に引き継ぐとともに、私自身もますます読書に励みたいと思います。」とお礼のこたばを述べました。

羽田様は、「母校を久しぶりに訪問しましたが、後輩の生徒たちや先生方から、このように歓迎していただいて大変うれしく思います。生徒の皆さんは、これからもしっかりと読書に励み、勉強もがんばってください。」とお話をされました。

贈呈式は終始なごやかな雰囲気の中で行われ、最後に記念撮影をして終了しました。



寄贈していただいた図書を  
羽田圭介文庫として設置



生徒たちと一緒に記念撮影

## インフルエンザの流行について

全国的なインフルエンザ流行の中、本校でもインフルエンザに罹患した生徒が多数発生し、K1を12/19(火)～21(木)の3日間、S1、D1、F3を1/17(水)～19(金)の3日間それぞれ学級閉鎖にしました。その後、1月末に向けて罹患者数は減少していますが、まだ数名の生徒が新たにインフルエンザA型またはB型に感染しています。これ以上の感染拡大を防ぐために、学校では、マスク着用、換気、手洗い等を徹底させています。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

なお、2年生は、2月19日(月)から22日(木)の4日間、修学旅行を計画しています。インフルエンザに罹っている生徒はもとより、発熱している生徒は、参加できない場合もありますので注意してください。

まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザに罹らないようにすることはもちろんですが、日ごろから規則正しい生活、適切な睡眠時間、バランスのとれた食事など、心がけていきましょう。